

知りたい そのデータ

——介護サービス利用額
要介護5でも58%

高齢者らが介護保険のサービスを受ける際にはまず、どの程度の介護が必要かを判定する要介護認定を受ける。これによって最重度の要介護5であれば、月約36万円相当の介護サービスを受けられることなどが決まる。この利用限度額に対して実際に利用されている額が意外に低い。厚生労働省が2009年4月分を調べたところ、要介護5の人の平均利用率が最も高かったが、それでも58%だ。

利用率が低い原因はいくつか考えられる。1つは利用額の1割と決まっている利用者自己負担の影響だ。高齢者は所得の格差も大きく、低所得者には重い負担となる。必要なサービスが十分でないことや、介護計画をつくるケアマネジャーが多様なサービスを組み合わせる力量に欠けているといった問題も指摘される。

